

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 2 年 1 月 23 日 (2020.1.23)

【公開番号】特開 2019-150437 (P2019-150437A)
【公開日】令和 1 年 9 月 12 日 (2019.9.12)
【年通号数】公開・登録公報 2019-037
【出願番号】特願 2018-39536 (P2018-39536)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 12 月 4 日 (2019.12.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技球の入球が可能な第 1 入球口と、

前記第 1 入球口への遊技球の入球が制限される第 1 制限状態と前記第 1 入球口への遊技球の入球が許容される第 1 許容状態とを切り替える第 1 電動役物手段と、

前記第 1 制限状態から前記第 1 許容状態に切り替え、第 1 所定条件が成立した場合に前記第 1 制限状態に切り替えられる第 1 切替遊技が 1 回以上実行される第 1 遊技を、第 1 特定条件の成立に基づいて、前記第 1 電動役物手段の動作を制御することによって実行する第 1 遊技実行手段と、

遊技球の入球が可能であり、前記第 1 入球口とは異なる特殊第 2 入球口及び通常第 2 入球口を含む第 2 入球口と、

前記第 2 入球口への遊技球の入球が制限される第 2 制限状態と前記第 2 入球口への遊技球の入球が許容される第 2 許容状態とを切り替える第 2 電動役物手段と、

前記第 2 許容状態において前記特殊第 2 入球口への遊技球を許容する特殊入球許容状態と前記特殊第 2 入球口への遊技球を制限する特殊入球制限状態とを切り替える切替部と、

前記切替部の動作を制御する切替部制御手段と、

前記第 2 制限状態から前記第 2 許容状態に切り替え、第 2 所定条件が成立した場合に前記第 2 制限状態に切り替えられる第 2 切替遊技を含む第 2 遊技を、前記第 1 入球口への遊技球の入球を契機として成立し得る第 2 特定条件の成立に基づいて、前記第 2 電動役物手段の動作を制御することによって実行する第 2 遊技実行手段と、

遊技球の入球が可能であり、前記第 1 入球口及び前記第 2 入球口とは異なる第 3 入球口と、

前記第 3 入球口への遊技球の入球が制限される第 3 制限状態と前記第 3 入球口への遊技球の入球が許容される第 3 許容状態とを切り替える第 3 電動役物手段と、

前記第 3 制限状態から前記第 3 許容状態に切り替えられ、第 3 所定条件が成立した場合に前記第 3 制限状態に切り替えられることで遊技者に特典が付与され得る第 3 切替遊技を含む第 3 遊技を、前記特殊第 2 入球口への遊技球の入球を契機として成立する第 3 特定条件の成立に基づいて、前記第 3 電動役物手段を制御することによって実行する第 3 遊技実行手段と、

を備え、

前記第 3 遊技実行手段は、前記第 1 特定条件の成立に基づいて前記第 1 遊技実行手段によって前記第 1 切替遊技が所定期間内に複数回実行される場合に、前記第 1 切替遊技の間において前記第 3 遊技を実行可能であることを特徴とする遊技機。

【請求項 2】

前記切替部制御手段は、前記第 2 許容状態において、前記特殊第 2 入球口に遊技球が入球された場合に、前記第 2 遊技実行手段によって前記切替部を制御して前記特殊入球許容状態から前記特殊入球制限状態に切り替えることを特徴とする請求項 1 に記載の遊技機。